

並木便り

高島市
マキノ

2024/3

マキノの
メタセコイア並木を
守り育てる会

“四季遊園”マキノ
VOL.12

現在の会員状況
2024.3.1 現在

会員数 88名
(団体会員含む)

会員募集中!!

詳しくは、下記公式HPを
ご覧の上、「入会申込書」
をダウンロードして下さい

公式HP:

メタセコイア.com

後世に残す並木道 ～二度目の記念植樹～

毎年本会にて実施している植樹(補植)活動。二〇二〇(令和二年)十二月には、当時のマキノ西小学校卒業予定生徒の方々に一度目となる記念植樹にご協力を頂きました。

その時「小学生」だった方も、今年の四月からは「高校生」に……。月日の経つのは早いものです。当時に植樹したメタセコイアは、「すくすく」と成長しており、植樹時は高さ2.5m幹回りの15cm

でしたが、今では高さ約4.5m幹回り40cm。当時の生徒の方々も、このメタセコイアに負けず劣らず成長されていると思います。

そして、去る三月四日(月)、前回同様にマキノ西小学校の令和五年度卒業予定の生徒の方々に協力頂き、並木道整備当時に植栽が叶わなかった区間へ、五本のメタセコイアを植栽いたしました。関係の皆様、ご協力あり



記念撮影



植樹風景



前回植栽した木(左植栽当時、右三年後の現在)



整備当時の写真
(資料提供: 高島市教育委員会)



撤去前の様子



現在の様子



跡地に保存設置された銘板

隧道撤去工事完了!

～時代と共に変わる利便性～

二〇一九(平成三十一)年一月の三日月滋賀県知事のマキノ町来訪の折、本会との意見交換会の中で、も直接要望させて頂いた百瀬川隧道の撤去工事。同じ年の十一月には、早速地元向けの事業説明会が開催される等、関係行政機関に迅速な対応をして頂いて以降、丸五年の歳月を経て見事撤去が完了いたしました。

本工事に関しご尽力頂きました皆様、誠に厚く御礼申し上げます。工事に際しては、整備当時の大正時代の銘板だけでなく、昭和初期に補修された際に設置された銘板も見つかっています。取り外された銘板は、隧道の存在を後世に伝えていくために、隧道があった場所に記念碑と共に保存設置されていますので、是

本工事に関しご尽力頂きました皆様、誠に厚く御礼申し上げます。

今回のフォトコンテスト受賞作品は…。

～ 今後は撮影する時間も多様化する？ ～

第十回目の開催となった今回のフォトコンテストでは、こちらの作品が受賞となりました。おめでとございませう！

最近、「人が映らないように撮影する事」が難しくなっているようで、応募者の方にも「苦労があるか」…。
現在並木道周辺では宿泊施設の整備が進んでいるので、今後は「宿泊&早



入選「Dreaming row of tree」
(紀の川市在住) 田中 嘉宏 様



特選「白銀の並木道」
(高島市在住) 駒井 隆広 様



佳作「スカッとさわやか」
(三木市在住) 松野 良信 様



入選「紅葉並木に冬の足音」
(彦根市在住) 平 尚治 様

たくさんのご応募をお待ちしています。

舗装が綺麗に！

北牧野く南牧野間の道路の不陸を修繕して頂きました。

消雪管の老朽化による「付替え」に合わせ、路面を上げる形で再舗装されています。

関係の皆様誠にありがとうございました。



清掃活動の「報告」

昨年末十二月二十二日に実施した清掃活動には八十六名の方にご参加頂きました。ありがとうございました。

今月末には、春の観光シーズン到来を前にした清掃活動を実施いたしますので、引き続きご協力下さいませようお願い申し上げます。



通常総会開催の「報告」

昨年の七月十四日、奥琵琶湖マキノグランドパークホテルにて令和五年度の通常総会が開催されました。四年振りに議場を設ける形で開催され、個人会員を含む三十一名の方にご出席頂きました。

清掃活動等の維持保全活動やホームページ運用等の広報活動を継続して実施していく事や並木道周辺の更なる道路環境の向上に向けた関係機関との協議等の活動計画についてご承認頂きました。メタセコイア紅葉シーズンの渋滞対策等、継続的な課題につきましても、引き続き協議を重ねて参ります。

K氏のつぶやき

「コロナ禍」が明け、再び大きな賑わいを見せているインバウンド市場。特に観光業界では、宿泊施設を中心に人材不足も相まって様々な価格が高騰しているとの事。

昨年に「ニセコ・マキノ交流会」会員として訪問した北海道のニセコ町付近では、現在首都圏を上回る時給でのお仕事もたくさんあるようです。

ごみ問題や騒音、治安の悪化や交通渋滞等、観光産業の「負」の側面である、いわゆる「オーバーツーリズム」の話題に絶えない昨今の状況ではあります。一方、人口減少や若年就労者の流出等「魅力のない地方」での「地域の衰退」への対策としては、観光を軸とした地域振興も欠かせないと感じます。

「観光客の増加」→「人材確保の為の労働条件の向上」→「地域外からの労働者の流入」→「定住者等の増加」→「他産業への波及」と流れていけば、観光業自体が「とつても良い産業」と言われるようになるのでは…。

好循環が生まれるまでには、もう少し時間がかかりそうです。

今号のお店

中華そば 幹

定食屋で料理を振るって来た店主の「最後にもう一度自分のお店を出したい。」という想いから始まったお店。「おばあちゃんの夢を叶えたい」とのお孫さんの思いも実り、地元の方と協力して作り上げたお店です。愛情たっぷりて懐かしいおふくろの味をご提供されています。

<今後の活動予定>

- ～3月22日 並木フォトコンテスト
- 3月22日 清掃作業 (側溝清掃・枝拾い)
- 6月下旬 通常総会



点滴穿石 (「漢書」枚乗伝)